



第 8 回例会

2023.09.6

会員 70 名中 54 名出席 出席率 77.14%
 修正 57 名出席 81.43%
 メイクアップ 3 名

クラブテーマ
 「奉仕の理念を世界に向けて愛を分かち合おう」
 方針
 1. ローターアクトの地位向上
 2. 女兒のエンパワメント
 3. DEI の促進 4. ポリオ根絶
 5. ローター行動計画の実施

例会場：クーラクーリアンテサンパレス 福島市上町 4-30 / 開催日：毎週水曜日 12 時 30 分

◆会長挨拶 佐久間 功 副会長（会長代行）



菅野会長が欠席のため、代わりに会長挨拶をさせていただきます。
 先月の 8 月 31 日は第 2530 地区 2023-2024 年度インターアクトクラブ年次大会が福島青少年会館で開催され私、青少年奉仕委員長伊藤弘子さんと参加させていただきました。

今回のテーマは「高校生に声を上げる機会ってあるのか？」言うテーマで福島県内の 18 校の高校からインターアクト生が参加し互いの学校活動報告などをして頂きました。午後からは各校の生徒が別々になって大会テーマにそってグループデカションを行い、互いに高校生同士で話すことができ、県内各地の高校生との出会いが出来たのではないかと思います。

次年度のホスト高校は福島成蹊高校でホストロータリークラブは福島南ロータリークラブですので次年度は会員皆様で県内各地の高校生を迎えたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

国際ロータリーの今月は「基本的教育と識字率向上月間」です。世界で読み書きできない 15 歳以上の人の数は、7 億 7,500 万人で全世界の 17%にあたります。しかも、学校に通っていない子どもは 6700 万人いると言われています。地域社会が自力で学校を支え、教育に性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、私たちロータリーアンの目標です。

私に関わっている NPO 法人もアジア子ども支援です。

子どもたちに性別、宗教、人種等問わず教育を受けさせることが目的です。教育を受けることは子どもたちの権利です。教育を受けることで貧困から抜け出すことができます。貧困は貧困を連鎖すると言われています。教育を受けることによって貧困、戦争に巻き込まれることが無くなると信じています。シリアのイスラム国兵士は貧困の兵士と言われています。今月のロータリー月間である基本的教育と識字率向上を考えてロータリーアンとしての教育の支援を踏まえて財団にご寄付をお願い申し上げまして会長挨拶とさせていただきます。

◆米山奨学金授与（リン・インテイさん） ◆誕生祝い（9 月誕生の皆様）



- | | | | | |
|-----|------|----|-------|----|
| 9 月 | 8 日 | 生： | 大野 順道 | 会員 |
| 9 月 | 8 日 | 生： | 松山 敏博 | 会員 |
| 9 月 | 15 日 | 生： | 國井 元 | 会員 |
| 9 月 | 21 日 | 生： | 渡辺 雅浩 | 会員 |



◆ロータリーの友の時間 齋藤 ミヨ 委員

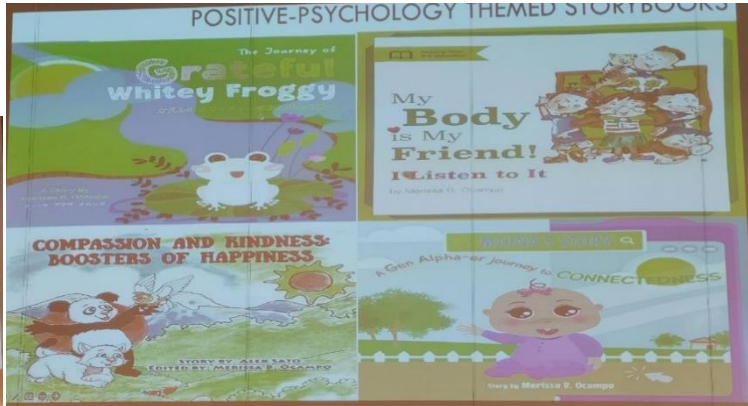


RC 情報教育委員会 齋藤ミヨ委員より、今月号の「ロータリーの友」について、RI 会長の平和の実践のメッセージ、ロータリー友編集部の記事、関東大震災から100年についての記事など、ロータリーのともには読みどころが満載であり「友」と友だちになってくださいと紹介いただきました。

◆新会員スピーチ オカンポ メリッサ ブラザ さん



1987年に来日し、北海道大学で研究していた頃のこと、福島に来て、会津若松で非常勤講師をしたこと、福島学院大学で講師をしていること、将来の夢についてお話されました。



◆会員スピーチ 宍戸 隆司 会員



私は現在、株式会社旭電化にてめっき業を営んでおります。
 皆さんは、「めっき」というものをご存じでしょうか？その歴史は古く3500年ほど前に遡ります。日本では、およそ1300年前の奈良時代に聖武天皇が建立した奈良の大仏が起源とも言われています。電気のなかった時代のめっきは「アマルガム法」と言われ、奈良の大仏は大量の水銀の中に金を溶かして、塗布するというものでした。その後火であぶることにより、沸点の違いから銀だけが蒸発して、金だけがそこに残るという方法で「金アマルガム法」と言われます。この時の金が水銀に溶けて消えていく様子から、古来日本では金を減すと書いて「減金（めっきん）」と呼ばれており、これが「めっき」という言葉の語源になっています。当用漢字にはありませんが、現在漢字では「鍍金」と書いて「めっき」と読み、～鍍金（めっき）会社という会社名も数多く使われています。

話が変わりますが、当社は、1976年（昭和51年）に(有)旭製版所（現：旭産業(株)）よりめっき部門を初代宍戸英雄が分社独立したことから、始まりました。創業47年になります。現在、当社においては電気めっきが主流で、亜鉛めっき、ニッケル・クロムめっき、無電解ニッケルめっき、硬質クロムめっきを手掛けています。

めっきは、作業自体はあまりお目にかかれませんが、私たちの身近に無数に存在しているものです。私は「めっき」はあらゆるものにその物以上の付加価値を付ける素晴らしい技術であると思っています。

因みに「めっきが剥がれる」という言葉がありますが、これは表面だけきれいに見えるが中身は大したことがない、隠されていた本当の姿が人々に明らかになることを意味する慣用句ですが、めっきの技術がまだ未熟であったところによく剥がれたことから出来た慣用句で、めっきに携わる者としてあまり好ましくない慣用句です。

私自身、ロータリーの精神に則り、めっきが剥がれることが無いよう切磋琢磨して中身を鍛えて参りたいと思います。皆様にはこれからもご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



■ 硬質クロムめっき(工業用クロムめっき) ■ 無電解ニッケルめっき(環境対応、鉛フリー、クロムフリー) ■ 電気ニッケル・クロムめっき

株式会社 旭電化 業務内容

めっき
 について知っていますか？

あなたは **めっき** について知っていますか？